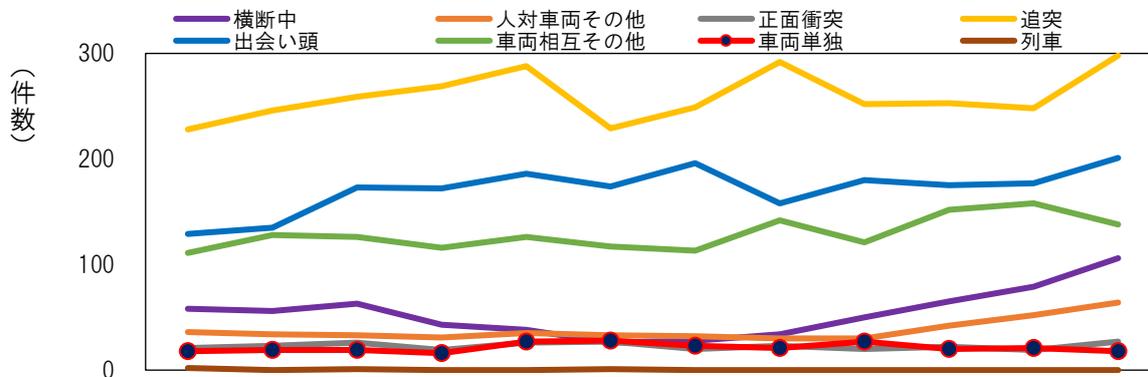


夏期の交通事故防止 ～夏期は車両単独による交通死亡事故が多発～

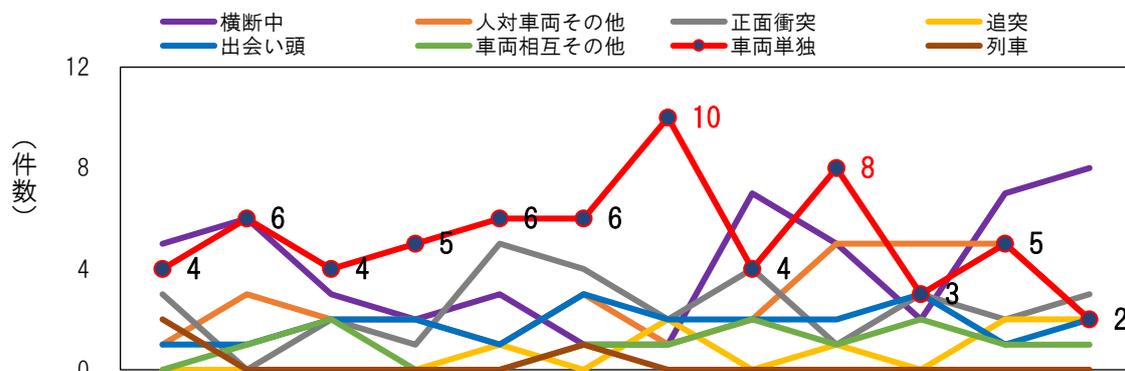
1 鳥取県における事故類型別・月別発生状況（過去10年間：平成26年から令和5年）

(1) 全事故件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
横断中	58	56	63	43	38	26	28	34	50	65	79	106	646
人対車両その他	36	34	33	31	35	33	32	30	30	42	52	64	452
正面衝突	21	23	26	19	26	27	20	23	20	22	19	27	273
追突	228	246	259	269	288	229	249	292	252	253	248	298	3,111
出会い頭	129	135	173	172	186	174	196	158	180	175	177	201	2,056
車両相互その他	111	128	126	116	126	117	113	142	121	152	158	138	1,548
車両単独	18	19	19	16	27	28	23	21	27	20	21	18	257
列車	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
合計	603	641	700	666	726	635	661	700	680	729	754	852	8,347

(2) 死亡事故件数

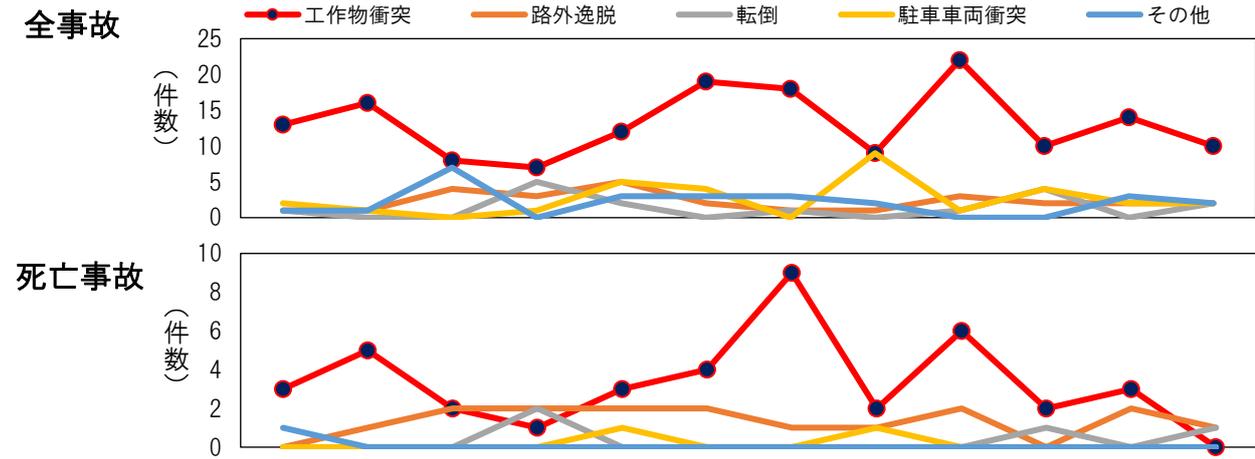


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
横断中	5	6	3	2	3	1	1	7	5	2	7	8	50
人対車両その他	1	3	2	2	1	3	1	2	5	5	5	2	32
正面衝突	3	0	2	1	5	4	2	4	1	3	2	3	30
追突	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	2	2	8
出会い頭	1	1	2	2	1	3	2	2	2	3	1	2	22
車両相互その他	0	1	2	0	0	1	1	2	1	2	1	1	12
車両単独	4	6	4	5	6	6	10	4	8	3	5	2	63
列車	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	16	17	15	12	17	19	19	21	23	18	23	20	220

- 過去10年間の全人身事故件数8,347件の事故類型別では、追突事故と出会い頭事故が5,167件で全体の61.9%を占めているが、死亡事故では車両単独事故が63件と最も多く全体の28.6%を占めている。
- 車両単独による死亡事故は、7月に10件と突出して発生するなど、6月から9月の4か月間で28件と多発している。

2 車両単独事故の分析

(1) 事故類型別・月別発生状況

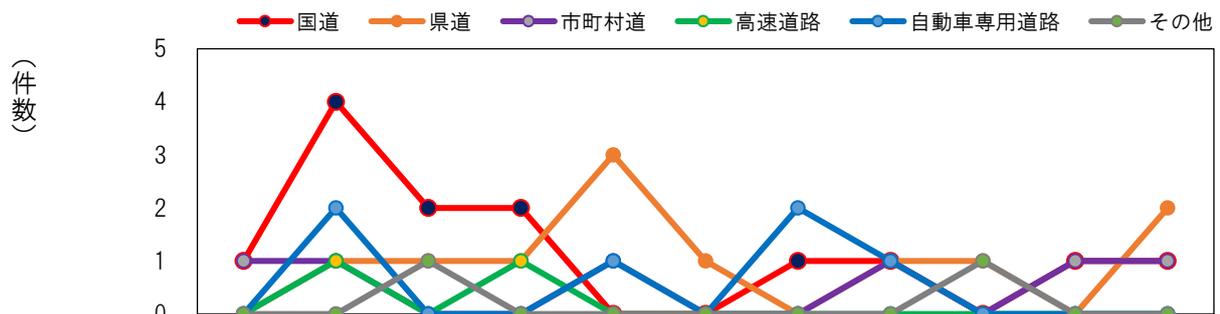


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
工作物衝突	13	16	8	7	12	19	18	9	22	10	14	10	158
うち死亡事故	3	5	2	1	3	4	9	2	6	2	3	0	40
路外逸脱	1	1	4	3	5	2	1	1	3	2	2	2	27
うち死亡事故	0	1	2	2	2	2	1	1	2	0	2	1	16
転倒	1	0	0	5	2	0	1	0	1	4	0	2	16
うち死亡事故	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	4
駐車車両衝突	2	1	0	1	5	4	0	9	1	4	2	2	31
うち死亡事故	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
その他	1	1	7	0	3	3	3	2	0	0	3	2	25
うち死亡事故	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	18	19	19	16	27	28	23	21	27	20	21	18	257
うち死亡事故	4	6	4	5	6	6	10	4	8	3	5	2	63
構成率	22.2%	31.6%	21.1%	31.3%	22.2%	21.4%	43.5%	19.0%	29.6%	15.0%	23.8%	11.1%	24.5%

- 車両単独事故257件中、工作物衝突は158件（61.5%）と最多で、死亡事故も63件中40件（63.5%）と多発している。
- 工作物衝突158件中、6月から9月までの4か月間に68件（43.0%）、死亡事故は40件中、同期間に21件（52.5%）と集中的に発生している。

(2) 工作物衝突による死亡事故の分析結果【40件】

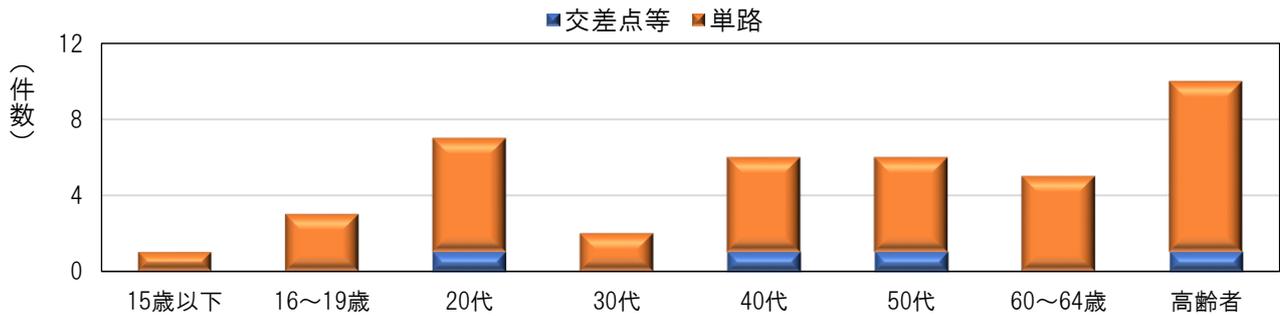
ア 時間別・路線別発生状況



	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	22-24	合計
国 道	1	4	2	2	0	0	1	1	0	1	1	13
県 道	0	1	1	1	3	1	0	1	1	0	2	11
市 町 村 道	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	6
高 速 道 路	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
自 動 車 専 用 道 路	0	2	0	0	1	0	2	1	0	0	0	6
そ の 他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
合 計	2	9	4	4	5	1	3	4	2	2	4	40
構 成 率	5.0%	22.5%	10.0%	10.0%	12.5%	2.5%	7.5%	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%	100.0%

- 時間別では、2時から4時までの間が9件（22.5%）と最も多く発生しており国道・高速道路・自動車専用道路で9件中7件（77.7%）と多発している。

イ 年齢別・道路形状別発生状況

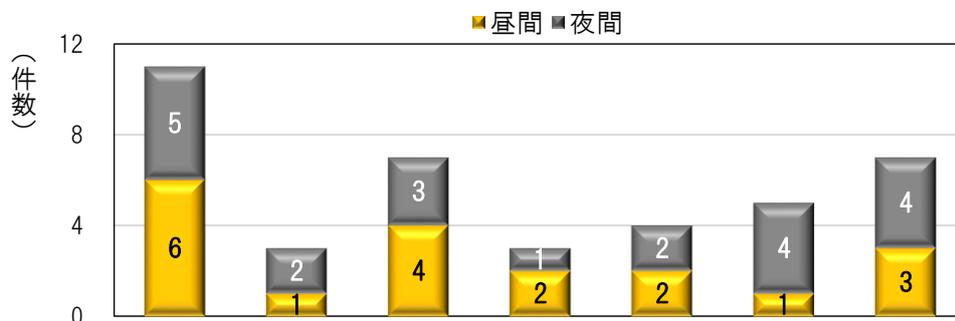


	交差点等			単路				合計	構成率
	交差点	交差点付近	計	トンネル	橋	カーブ	その他		
15歳以下			0			1		1	2.5%
16~19歳			0			1	2	3	7.5%
20代	1		1	1		3	2	6	17.5%
30代			0				2	2	5.0%
40代		1	1	1	1	1	2	5	15.0%
50代	1		1			1	4	5	15.0%
60~64歳			0	1		3	1	5	12.5%
高齢者		1	1		1	3	5	9	25.0%
合計	2	2	4	3	2	13	18	36	100.0%
構成率	5.0%	5.0%	10.0%	7.5%	5.0%	32.5%	45.0%	90.0%	100.0%

○ 年齢別では、65歳以上の高齢者が10件（25.0%）と最も多い。

○ 道路形状別では、単路が全体の90.0%を占め、単路のうちその他（直線道路）が18件と最も多く、次いでカーブの13件が多い。

ウ 昼夜別・曜日別発生状況



	日	月	火	水	木	金	土	合計	構成率
昼間	6	1	4	2	2	1	3	19	47.5%
夜間	5	2	3	1	2	4	4	21	52.5%
合計	11	3	7	3	4	5	7	40	100.0%
構成率	27.5%	7.5%	17.5%	7.5%	10.0%	12.5%	17.5%	100.0%	

○ 曜日別では、日曜日が11件と昼夜ともに発生が多く、次いで火曜日と土曜日の7件が多い。

○ 昼夜別では、夜間が21件と全体の52.5%を占め、21件中金曜日から日曜日に13件と全体の61.9%を占めている。

まとめ

- ◎ 夏期（6月～9月）は単独による交通死亡事故が増加
- ◎ 単独死亡事故のうち、工作物衝突による事故が多発
- ◎ 2時から4時までの間に多発
- ◎ 単路での発生が多く、中でもカーブ・直線道路で多発
- ◎ 昼夜ともに発生しており、特に日曜日は多発

